志 摩 市 教 育 委 員 会 会 議 録

１．会議の種類　　令和３年第１０回定例会

１．招集年月日　　令和３年１０月１３日（水）

１．開催年月日　　令和３年１０月２０日（水）

１．開催場所　　志摩市役所４０３会議室

１. 招集をした者　　舟戸 宏一

１．委員数　　４名

１．出席委員　　濵口 茂之・森 かお子・山下 行重・森本 由加

１．欠席委員　　なし

１．会議に出席した者　　教育長　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 舟戸 宏一

　　　　　　　　　　　 　教育部長兼国体推進室長　　　　　　　　　　　 伊藤 幸記

教育総務課長　　　　　　　　　　　　　　　　 柴原 晃

　　　　　　　　　　　　　学校教育課長　　　　　　　　　　　　　　　　 澤田 真仁

　　　　　　　　　　　　　学校教育課副参事兼管理主事　　　　　　　　　 金光 孝裕

　　　　　　　　　　　　　総合教育センター長　　　　　　　　　　　　　 田畑 拓夫

　　　　　　　　　　　　　生涯学習スポーツ課長　　　　　　　　　　　　 山本 富紀

１．傍聴人　　０名

１．事　　　　　　　項

|  |  |
| --- | --- |
| 開　会日程第　１日程第　２日程第　３日程第　４日程第　５日程第　６閉　会 | 開会時間　　　９時００分会議録署名委員の指名　　1番　　濵口　委員教育長報告報告第５５号　令和３年度　志摩市教育委員会事務局職員の人事の承認について報告第５６号　令和３年度第２回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート結果について報告第５７号　子どもの育ちや学びの支援　志摩市総合教育センター保護者文書の配付についてその他協議・報告案件について1. 各課からの報告
2. その他

閉会時間　　　９時３２分 |
| 教育長**日程第１**教育長委員**日程第２**教育長各委員教育長**追加日程第１**教育長事務局教育長各委員教育長各委員教育長**日程第３**教育長事務局教育長各委員教育長**日程第４**教育長事務局教育長委員事務局委員事務局委員教育長委員事務局委員教育長教育長各委員教育長**日程第５**教育長事務局教育長委員事務局教育長各委員教育長**日程第６**教育長事務局事務局事務局事務局事務局教育長各委員教育長事務局教育長各委員教育長 | 皆さん、おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから令和３年第10回定例教育委員会を開会します。事項書の日程に従いまして進めさせていただきます。**会議録署名委員の指名**日程第１、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、１番濵口委員を指名します。よろしくお願いします。**教育長報告**日程第２、教育長報告については、お手元に配付のとおりでございます。教育長報告について、質疑はございませんか。（質疑なし）質疑はないようですので、次へ進めます。**議案第41号　令和３年度11月補正予算（案）について**追加日程第１議題第41号　令和３年度11月補正予算（案）についてを議題とします。本案について事務局から説明を求めます。事務局。よろしくお願いいたします。議案第41号 令和３年度11月補正予算案についてご説明いたします。追加資料は前のほうから４枚目の右肩に当日資料教育総務課議案第41号となります。今回の補正につきまして、こちらの事業主旨は、新型コロナウイルス感染症の拡大から外出も厳しい状況である子どもたちに夢や希望、また心を震わせる体験をさせて欲しいという、市内の匿名の寄付者からご寄附をいただきました。各校に100万円ずつということでいただきまして、寄附者のご意向に沿った事業を予算化するために今回補正を上げるものでございます。まず歳入ですが、教育費寄附金ということで、こちら699万9,000円となっておりますが、当初予算時に寄附を想定して頭出し1,000円を計上しておりますので、今回この金額となっております。続きまして裏面です。歳出につきましては、小学校総務一般経費ということで、今回補正予算額700万円を計上させていただいております。内容としましては、各校で夢を体験できる事業を行って欲しいということで、その委託料が413万2,000円、それとその100万円の残りを有効活用するということで、いろんな組み合わせで、消耗品として55万8,222円、それとその事業に関係したまた必要な備品ということで備品購入費230万9,778円を計上しておりまして、こちら合計で700万円となっております。次のページの各学校の事業につきましては、例えば浜島小学校のホテル丸ごと体験、各校将来の仕事の選択にもなるような体験であったり、また今の子どもたちが将来必要となるドローンの知識であったり、VR体験であったり、なかなか普段では体験できない文化芸術の体験等を各学校で計画いただきました。その残額につきましては、各学校で必要な備品、消耗品を購入していただくことになっております。説明は以上です。説明がありました。質疑はございませんか。（質疑なし）質疑がないようですので採決に移ります。議案第41号について、承認される方の挙手を求めます。（挙手）挙手全員です。よって、議案第41号は可決されました。**報告第55号　令和３年度志摩市教育委員会事務局職員の人事の承認について**日程第３、報告第55号、令和３年度志摩市教育委員会事務局職員の人事の承認についてを議題とします。本案について、事務局から説明を求めます。事務局。令和３年度志摩市教育委員会事務局職員の人事の承認について、別紙をご覧ください。教育委員会関係職員のみ申し上げます。まず、教育部長職の私が国体推進室長との兼務になりました。国体推進室の阿部室長が、管財契約課に異動ということになりました。次に、古田課長補佐が水産課の水産振興担当の課長補佐へ異動となりました。次に、泊競技係長は志摩支所の市民サービス係長に異動となりました。西尾主査は昇任人事で、こども家庭課の保育幼稚園第三係長へ異動となりました。今回の人事異動につきましては、国体が中止となったことで国体推進室の縮小に伴うものでございます。説明は以上です。説明がありましたが、質疑はございませんか。（質疑なし）質疑はないようですので、報告第55号は承認されました。**報告第56号　令和３年度第２回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート結果について**日程第４、報告第56号、令和３年度第２回一人ひとりが大切にされるための生活アンケート結果についてを議題とします。本案について事務局から説明を求めます。事務局。資料５ページをご覧ください。令和３年度第２回「一人ひとりが大切にされるための生活アンケート調査」結果につきまして、報告をさせていただきます。第２回アンケートは、８月下旬より三重県においても緊急事態宣言が発令され、これに伴い９月中の約１ヶ月間、分散登校になったことで、学校での滞在時間が短く、加えて子供たち同士の関わりが少なくなった状況でありましたが、夏季休業中における出来事の確認、新学期後の教育相談への活用の意味も含めて、当初予定通り実施しました。結果につきましては、資料に示す通り、今回の調査におけるいじめの認知件数は全５件、小学校が２件、中学校が３件でありました。やはり、子どもたち同士の関わりが少なかった影響もあって、今回の調査においては、少ない認知件数でありました。アンケートからの認知件数は５件でありましたが、中学校では、夏休み中の部活動内の人間関係のトラブルをいじめとして認知して対応した事例１件、小学校では、児童本人からの訴えがあった事例２件、アンケート以外の認知もありました。令和３年９月末までのいじめ認知合計件数は小学校が19件、中学校が27件となっています。半年を経過して、小学校では、昨年度の認知件数の約54％、中学校では昨年度の認知件数の約44％の状況であり、昨年度同様に積極的な認知が継続して行われていると捉えています。本年度は、アンケートでの認知はもちろん、それ以外の認知件数が現時点でも昨年度よりも増え、児童生徒自身からの直接訴える場面があったり、昨年度の課題であった部分が少しずつ改善されているように思います。子どもが直接訴えることができるということは、先生との信頼関係ができている表れでもあると捉えています。「いじめ見逃しゼロ」を原点として、常にアンテナを高くしながら、子どもたちの安心・安全な居場所づくりに向けて、今後も学校と連携して取り組んでいくことはもちろん、教育委員会からも積極的な発信を行っていきたいと考えています。報告は以上です。説明がありましたが、質疑はございませんか。委員。今回の件数の中で、小学校の７番目のところで、嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりしたという部分の内容を教えてください。内容的には、夏休みの児童クラブで、上級生に指を立ててかまわれたという内容です。そういうことがあれば担任に伝えるよう話をして、継続して見守っているという状況です。あと他にこの中で、保護者に伝えたり、連携をとらないといけないものはありましたか。今回のところで、連携というところでは、そのようなことがあったということは伝えてありますが、学校の見守りでとりあえず対応できると考えております。分かりました。ありがとうございます。他よろしいでしょうか。委員。志摩市は小学校、中学校とも、９月いっぱい分散登校でした。いじめのこととか、不登校に関して、子どもたちの姿で何か変化はありましたか。まず、分散登校になって、不登校気味だった子どもが学校に来れたということはあります。ただそうは言いながら、いじめ不登校の件数自体は、増えている状況があります。これまで、例えば短縮授業とかありましたが、ここ10数年ないなかで、今回分散登校でという部分で、だんだん慣らしていくというのは、ある意味不登校気味の子どもたちが学校に来ることができる一つの要素になっているのかなと思います。今回、詳しい分析はできていませんけど、ざっと見る限りそういう状況でした。ありがとうございました。特に小学校低学年は、午後からの登校に対するストレスというのは現場からの報告もあります。それが直接不登校というところに繋がっているかどうかではないですけども、子どもたちが昼からぐったりしている様子があるということは、現場から聞いております。事務局からの話がありました通り、分散登校という今までと違う生活形態がありましたので、数は少ないのですが逆に、先生方も、子どもたちと関われる時間が少なかったということもありますので、10月が始まって平常登校になってから、子どもたちの様子をしっかり見てくださいということは現場に話してありますので、また10月、11月の生活を見守っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。他に質疑はありませんか。（質疑なし）他に質疑はないようですので、報告第56号は承認されました。**報告第57号　子どもの育ちや学びの支援志摩市総合教育センター保護者文書の配付について**日程第５、報告第57号 子どもの育ちや学びの支援志摩市総合教育センター保護者文書の配付についてを議題とします。本案について事務局から説明を求めます。事務局。ご説明します。ページは６ページです。志摩市総合教育センターの保護者宛文書につきましては、年度当初に保育所、幼稚園、小中学校の全ての保護者に対する志摩市総合教育センターについて周知するほか、年度内に数回文書を配付しており、今回は全国学力・学習状況調査ついて問題例とともに調査結果についての文書を配付いたしました。配付対象は志摩市内小中学校及び保育所幼稚園の保護者で、10月13日までに各所属を通じて発出済みとなっています。記載内容についてですが、志摩市の教科全体に関する平均正答率について公表は行わないということから、文章表記としています。まず、ページ左側の小学校の国語の部分ですが、「平均正答率は、全国平均よりやや下回りました」ということで、全体の傾向を表記しました。また、実際の問題をとり上げながら強み弱みについて紹介しています。強み弱みの部分に記載しましたように、語句の使い方を理解し，使うことは概ねできていますが，文章から必要な情報を見つけてまとめたり，文章を要約したりすることに課題が見られます。このようなことから、対応ということで、説明的な文章を読むときは、何がどのように書かれているかを考え、要点をまとめる機会を増やしていくことを記載させていただきました。右側のページは小学校算数となっています。国語と同様に全体の傾向を記載させていただいております。強み弱みの所ですが、算数の基本的な知識や技能はおおむね身についていますが，内容を理解し，言葉や数を用いて自分の考えを説明することに課題が見られます。そのための対応として、問題を解決するときは、これまで学習してきたことを生かしながら、筋道を立て考える機会を増やしていくことについて記載しています。次に裏面となりますが、２枚目をご覧下さい。中学校の国語について小学校と同様に記載しています。強み弱みですが、漢字を読んだり，話の内容を理解したりすることは概ねできていますが，文章の内容を理解し，そのことについて自分の考えを持ち，記述することに課題が見られます。そのための対応として文学的な文章を読むときは、自分の知識やこれまでの経験と結びつけて読み、友だちと考えの交流をする機会を増やしていくことについて記載させていただきました。右のページは中学校の数学について記載しています。強み弱みとして、数学の基本的な知識や技能は概ね身についていますが，内容を理解し，数学的な表現を用いて説明することに課題が見られます。その対応として数学で学習したことを生かして、身の回りの問題を考える機会を増やしていくことを記載させていただきました。対応については、指導主事間で共有し、授業参観等でこのような視点を持ちながら指導助言を行っていくことを確認しております。今回は主に学力調査にかかる内容となっていますが、11月には学習習慣や生活習慣に関する便りを発出する予定です。今回の保護者あての文書については以上です。説明がありましたが質疑はございませんか。委員。今回の保護者宛て文書を読んで、課題があった問題が紹介されています。各学校それぞれ取り組みについては、校長先生の文書等で発信されていると思うのですが、志摩市全体として家庭に協力してほしい、保護者に協力してほしいことをあわせて書いていただけると、読まれる方もいらっしゃると思いますのでお願いします。各学校それぞれから細かい内容とか、日々の生活なども含めて学校だより等で周知していると思いますが、市全体として協力願いたいことを述べていくのも対応としてあると思いますので、そういったことも含めて次回考えさせていただきたいと思います。県教委からの指摘も家庭学習の定着も志摩市の課題であると言われていますし、それから家庭におけるテレビゲーム等の時間が多いというのも課題として挙がっておりますので、具体的な勉強内容もそうですが、学習の癖をつけるための家庭の協力は必要な部分であります。今の意見を参考にしながら、呼びかけや働きかけをしていきたいと思います。他に質疑はございませんか。（質疑なし）質疑はないようですので、報告第57号は承認されました。**協議報告案件について**協議報告案件について、まずは①の各課からの行事予定の報告を求めます。質疑は各課報告の後、一括して行いますので、ご了解ください。事務局。資料９ページをご覧ください。11月22日月曜日、午前９時から第11回定例教育委員会を405会議室で予定していますのでよろしくお願いいたします。事務局。資料10ページになります。10月21日に夢の教室を大王中学校で予定をしております。今回昨年度に引き続きですが、オンラインでの実施となります。今回の夢の教室の先生につきましては、松阪市出身の元プロ野球選手古木さんとなっております。それから続きまして、就学児健康診断につきましては、21日に大王小学校入学予定児童、それから、11月４日と11日に鵜方小学校入学予定児童、11月16日、18日に志摩小学校入学予定児童を予定しております。それから防災関係につきまして、10月28日に磯部中学校で、避難訓練と防災学習HUG、11月12日に大王小学校でタウンウォッチング・マップづくり、18日に志摩小学校でタウンウォッチングを予定しております。それから10月28日に就学支援委員会、29日に授業研究指定校公開研究会でZoomを使って行うことになっております。総合教育センターですけども10月21日、本年度の第１回志摩市総合教育センター運営委員会を開催いたします。場所は総合教育センターです。続いて、10月28日、第３回就学支援委員会を市役所本庁で開催します。それから、11月19日、生徒指導に係る研修講座④ということで、講師に三重大学の教授をお招きしまして、不登校児童・生徒への理解についてというようなテーマで、開催を予定しております。場所は総合教育センターで行います。以上です。資料につきましては12ページをご覧ください。10月中の期間といたしまして、社会教育調査をさせていただいております。この調査につきましては３年に１度の調査で、民間の事業者も含めて市内の社会教育施設などが対象となっております。10月８日から25日まで、志摩市スポーツ施設整備基本計画の策定に伴う志摩市内の運動スポーツ施設のアンケート調査を実施させていただいております。市のホームページなどから回答いただけるようになっておりますので、またご協力いただければと思っております。10月中につきましては、前回の定例教育委員会でもご案内させていただきましたオクトーバー・ラン＆ウォークの取り組みを進めさせていただいております。10月20日、令和３年度第１回志島・畦名古墳群調査検討委員会を開催させていただきます。主な議題としましては、今回新たに委嘱させていただきます委員の委嘱式と泊古墳関係の今年度の発掘範囲の決定を予定しております。10月25日月曜日でございますけども、第３回「Ｖリーグ岡山シーガルズバレーボール教室」実務者会議を開催予定しております。10月27日水曜日でございますけども、令和３年度第２回志摩市スポーツ推進審議会を予定しております。11月19日に全員協議会におきまして、志摩市スポーツ施設整備基本計画案をお示ししまして、審議会及び議会からご意見をいただく予定としております。教育委員会のご承認をいただいた後に、審議会等に提示させていただくのが本来の順番であろうかと考えておりますけども、日程の都合で先に審議会等にお示しさせていただくことになりまして大変申し訳ございませんが、ご了承をいただきたいと思います。なお、計画の内容につきましては、８月に示させていただきました基本方針等に肉付けした上で、スポーツ施設ごとの利活用及び整備の方向性を明らかにするといった、まとめ方で現在、策定を進めさせていただいております。10月28日につきましては、オンラインで開催をされます第63回全国社会教育研究大会石川大会に参加の予定をさせていただいております。10月29日、令和３年度第１回志摩市スポーツ推進委員協議会役員会を開催の予定をさせていただいております。予定としては以上でございます。国体推進室につきましては、今後清算業務が中心になってきます。今月に関しましては、特に大きな行事もございませんので、報告する案件はございません。以上です。それでは各課からの報告がすべて終わりましたので一括して質疑を求めたいと思います。質疑はございませんか。（質疑なし）それでは、次へ進めます。②その他の件について、何かございませんか。事務局。それでは、一番最後のページなります。「子どもの育ちや学びの支援志摩市総合教育センター便り」について説明します。今回は９月24日に第９号を発出いたしました表面をご覧ください。８月23日に開催いたしました養護教諭等の研修講座について紹介させていただきました。頭部外傷時の救急対応についてというテーマで千里金蘭大学の中島教授に講師をご依頼し、新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインで実施し、学校における危機管理のあり方や子どもたちへの救急対応についてご教示いただきました。中島教授は、ご自身も養護教諭の経験をされている方で、ご自身の経験も踏まえながらわかりやすくお話しいただきました。次に、８月27日に実施いたしました教員ICT活用指導力向上講習会について紹介させていただいております。本研修は県教育委員会研修推進課の方に講師をしていただき、オンラインで実施いたしました。研修では日々先生たちが使用しているGoogleワークスペースの使い方について、実際に機器の操作をしながらご教示いただきました。また、記載のとおり授業で使えるテキストマイニングという便利な機能の紹介もしていただきました。裏面をご覧下さい。８月26日に実施しました第３回志摩市学力向上検討委員会について紹介させていただいております。本会議もオンラインで実施しました。今回は志摩市総合教育センターの相談員で、学力向上検討委員会委員でもあります山際さんに講師を務めていただき、授業改善の取組について委員のみなさんで考えました。内容は、みえスタディ･チェックや学力調査の問題をとり上げ、委員それぞれが実際に問題を解いてみてどのような授業を行っていくとよいのかについて考えました。日常的な授業について振り返ってみたとき、先生たちは、発問に対して子どもたちが落ち着いて考える時間を保障しているか、正答のみを求める授業展開になっていないかといったことについて問題提起を行いました。自分で考える時間の保障」「なぜそれが正答なのかを考える」これらのことを日々の授業の中で取り入れていくことによって志摩市の子どもたちの弱みとする部分の改善につなげていこうというねらいがありました。夏季休業中の研修については、８月後半はオンラインで行うことになりましたが、参加者の皆様もずいぶんと操作に慣れて大きな混乱もなく進めることができました。参加者とのやり取りを行いながら進めることもでき、オンラインであっても対面で行う研修により近い形で進めることができました。２学期以降の研修につきましても、集合型研修を基本にと考えていますが、状況を見てオンラインに切り替えることで実施をしていきたいと考えています。以上です。説明がありましたが質疑はございませんか。（質疑なし）それでは質疑がないようですので、その他協議・報告案件についてを終わります。以上で、本日の日程はすべて終了しました。次回定例教育委員会は、令和３年11月22日月曜日午前９時から、４階405号室で行う予定をしております。以上で令和３年第10回定例教育委員会を閉会します。お疲れさまでした。本日の会議を記録し、署名する。　　教　　育　　長　　　　　委　　　　　員 |